

国管理河川の主な被害状況

地理院地図
(電子国土Web)

台風第9号による大雨
石狩川水系石狩川(深川市、旭川市)

- ・溢水
- ・浸水面積 約120ha 浸水家屋 6戸



8月20日から続く大雨
常呂川水系常呂川(北見市)

- ・堤防決壊 1箇所 越水4箇所
- ・浸水面積 約215ha



台風第10号による大雨
石狩川水系空知川(南富良野町)

- ・堤防決壊 2箇所
- ・浸水面積 約130ha 浸水家屋183戸



台風第10号による大雨
十勝川水系札内川(帯広市)

- ・堤防決壊 2箇所
- ・浸水面積 約50ha 浸水家屋2戸他



50 km

北海道管理河川の主な被害状況①(台風第11号、第9号)

■石狩川水系辺別川及び常呂川水系東亜川で堤防が決壊する等、17水系43河川において浸水被害等が発生。

いしかりがわ
石狩川水系:22 河川
【床下浸水16戸_床上浸水1戸_浸水面積367.6ha】



いしかりがわ
石狩川水系辺別川(被害状況)H28.8.23撮影



いしかりがわ
石狩川水系パーパン川(被害状況)H28.8.21撮影

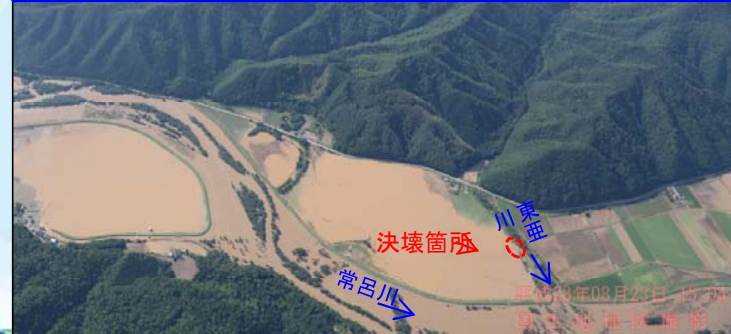


地理院地図
(電子国土Web)

しよこつがわ
渚滑川水系:1河川
【床上浸水1戸_浸水面積12.0 ha】

ゆうべつがわ
湧別川水系:1河川
【浸水面積21.8 ha】

ところがわ
常呂川水系:2河川
【床下浸水11戸_床上浸水1戸_浸水面積117.5ha】



ところがわ
常呂川水系東亜川(被害状況)H28.8.23撮影

あばしりがわ
網走川水系:2河川
【浸水面積19.1ha】

もことがわ
藻琴川水系:1河川
【浸水面積29.0ha】

むかわ
鶴川水系:1河川 【床下浸水1戸、浸水面積25.1ha】



むかわ
鶴川水系穂別川(被害状況)H28.8.25撮影

しんめつがわ
真沼津川水系:1河川
【浸水面積19.3ha】

いりしかべつがわ
入鹿別川水系:1河川
【浸水面積26.9ha】

北海道管理河川の主な被害状況②(台風第10号)

■十勝川水系芽室川で堤防が決壊する等、7水系18河川において浸水被害等が発生。

いしかりがわ
石狩川水系:2河川
【床下浸水24戸_床上浸水5戸_
浸水面積69ha】

さるがわ
沙流川水系:1河川
【床下浸水12戸_全壊1戸_半壊1戸_
浸水面積180ha】



さるがわ
沙流川水系沙流川(被害状況)H28.8.31撮影

ゆうべつが
湧別川水系:2河川
【浸水面積20ha】

しゃりがわ
斜里川水系:2河川
【浸水面積66ha】
おくしべつがわ
奥蘂別川水系:1河川
【浸水面積36ha】

とかちがわ
十勝川水系:10河川(調査中)
【家屋流出3戸_床上浸水1戸_床下浸水260戸_
浸水面積441ha】



とかちがわ
十勝川水系芽室川(被害状況)H28.8.31撮影



とかちがわ
十勝川水系パンケ新得川(被害状況)H28.9.1撮影



とかちがわ
十勝川水系ペケレベツ川(被害状況)H28.9.1撮影



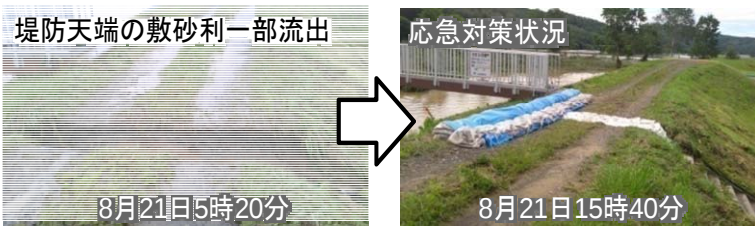
とかちがわ
十勝川水系ペケレベツ川(被害状況)H28.8.31撮影

8月20日から大雨による常呂川の被災状況

- 8月20日からの降雨により、常呂川の太茶苗観測所では、観測史上第1位の水位を記録し、常呂川本川では越水が4箇所発生、支川柴山沢川では堤防が決壊。浸水家屋は生じなかったが、外水氾濫により約215haが浸水。
■排水ポンプ車等を派遣し浸水解消に努めるとともに、8月26日に緊急復旧工事を完了。

左岸24.0k 堤防天端敷砂利の一部流出

21日 0:10 堤防からの越水を確認
21日 5:20 堤防天端の敷砂利一部流出を確認
21日15:40 応急対策 完了

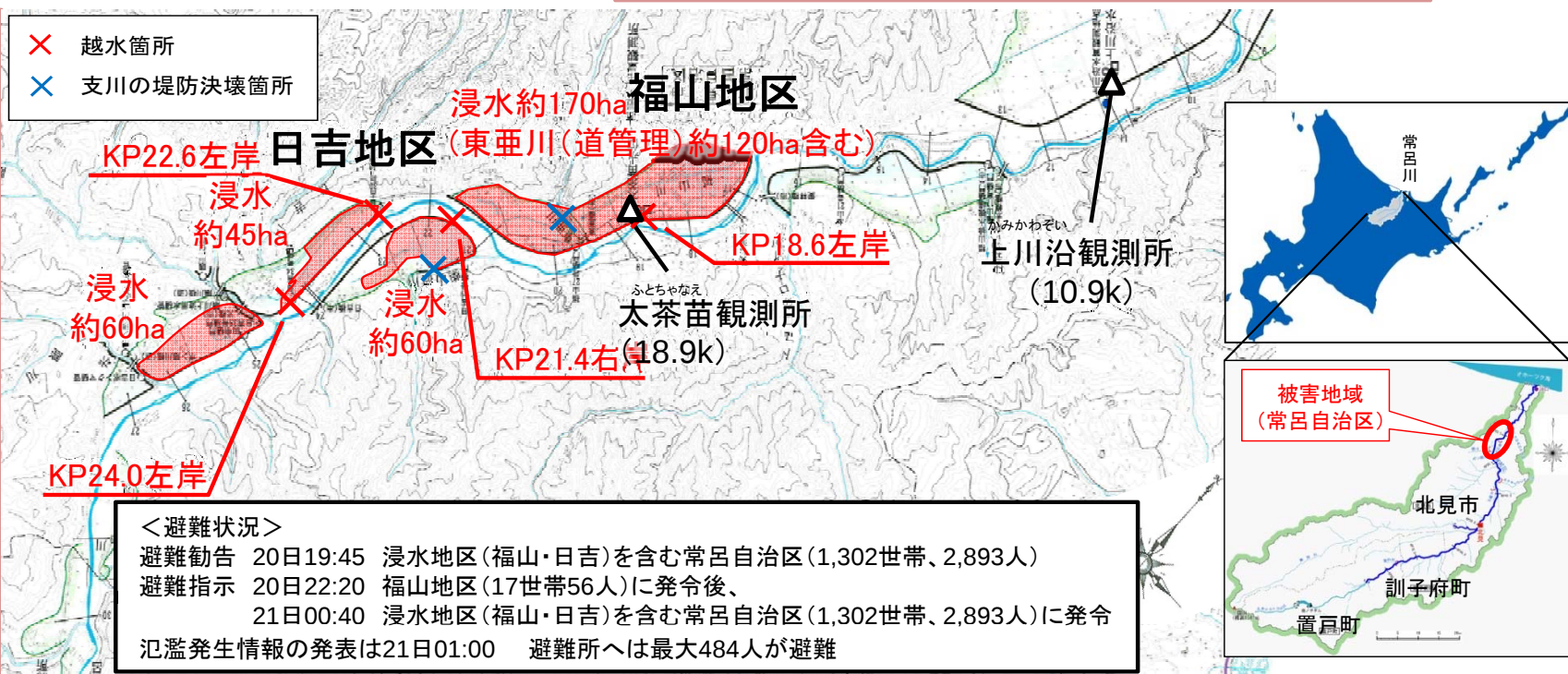
支川柴山沢川(2-7区間^(注))堤防の決壊

21日 5:20 柴山沢川の堤防の一部流出を確認(延長約100m)
22日 緊急復旧工事 着手
26日 緊急復旧工事 完了



左岸22.6k 堤防裏法崩れ

21日
0:40 堤防からの越水を確認
(越流幅70m)
0:50 堤防裏法の崩れを確認
(幅16m)
5:20 越水終了を確認
13:50 応急対策 完了



(注) 国管理区間の改良工事と一体として施工する必要があるため、河川法施行令第2条第7号に基づき、指定区間のうち国が工事を施工する区間。

※本速報に記載されている数値や図表は速報値であり、今後、変更となる可能性があります。

常呂川における治水事業の効果(河道掘削)

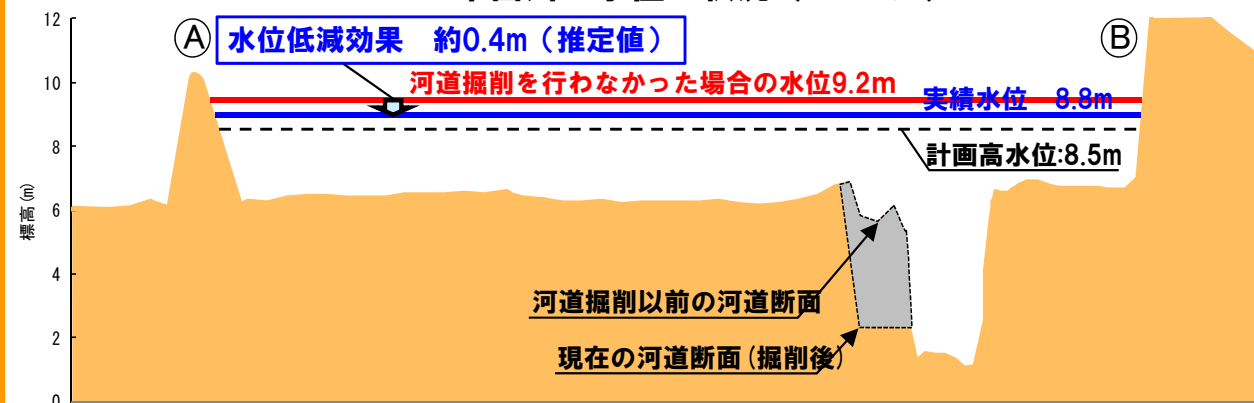
- 常呂川では、平成13年9月洪水、平成18年8月の洪水災害を受け、洪水を安全に流すための河道断面を拡幅する河道掘削を実施。8月20日から大雨による出水では、これまでの河道掘削が効果を発揮し、**約0.4m水位が低下**。
- 8月20日から大雨による出水では、計画高水位を超過し越水により約215haの浸水が発生したが、仮に河道掘削が実施されず、もし決壊した場合には**約2,400haが浸水**したと想定。

位置図

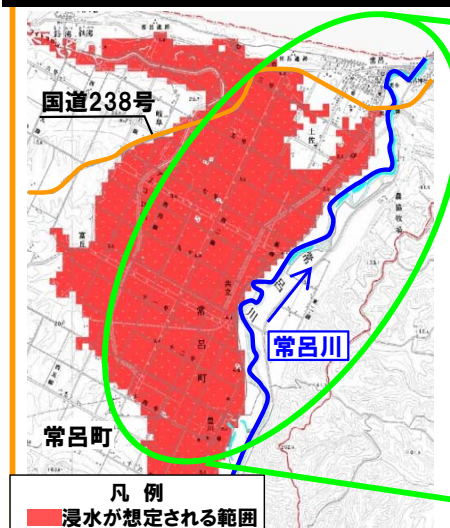


掘削による水位低減効果

常呂川の水位の状況 (KP11.0)



河道掘削を行わず堤防が決壊した場合に想定される被害



氾濫面積	浸水家屋
約2,400ha	約700戸

河道掘削を行わず
堤防が決壊した場合の想定被害

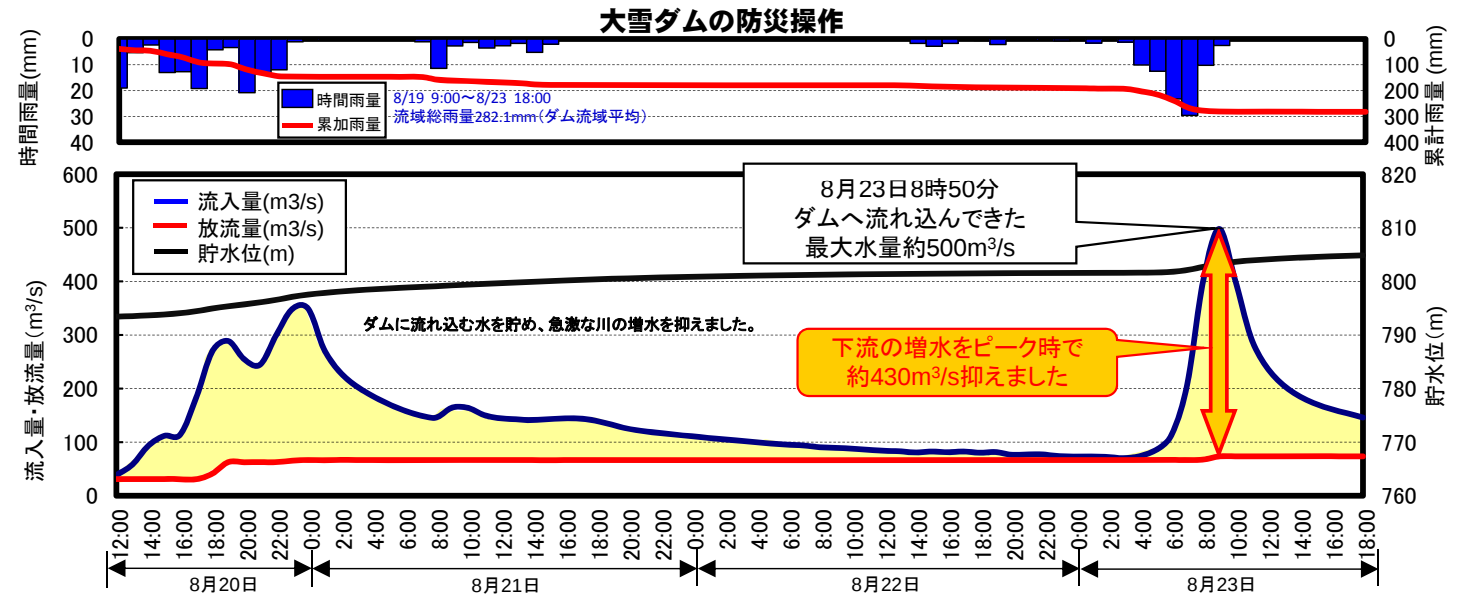
台風第9号による石狩川水系石狩川の被災状況

- 台風第9号による降雨のため、納内観測所(深川市)では、**昭和50年、56年洪水に次ぐ水位を観測。**
- 深川市納内町付近および旭川市神居町神居古潭において、**約120haが浸水し、家屋6戸の浸水被害が発生。**
- 排水ポンプ車の派遣や緊急的に排水路を整備し、8月25日17時に排水を完了。

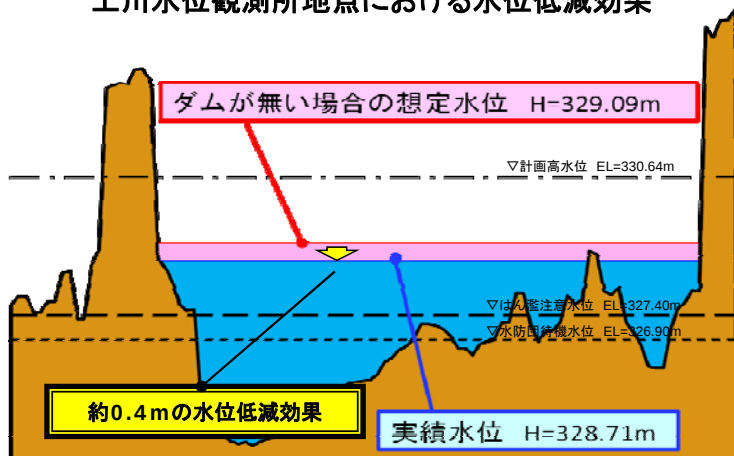


治水事業の効果 ダム整備が効果を発揮(北海道 大雪ダム)(国管理)

- 平成28年8月台風第9号に伴う降雨により、大雪ダムにおいては、既往最大の流入量を観測しました。
- 大雪ダムの防災操作によって、下流河川の水位低減を図り、下流の上川町(上川水位観測所)では、水位を約0.4m低減させる効果があったものと推測されます。



上川水位観測所地点における水位低減効果



大雪ダム貯水状況



石狩川上川水位観測所付近



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。

札内川では、ホットラインによる情報提供で円滑に避難勧告を発令

- 自治体、北海道、国からなる「十勝川減災対策協議会」で検討された減災に関する取組方針に基づき、河川事務所長から自治体の長へのホットラインを実践。
- 戸蔦別川(北海道管理区間)の堤防が決壊し、帯広市中島町にて浸水被害が発生したが、密なホットラインとともに水位上昇についての切迫感のある情報を伝えたことにより、氾濫危険水位到達前に帯広市が対象地域へ避難勧告を発令。

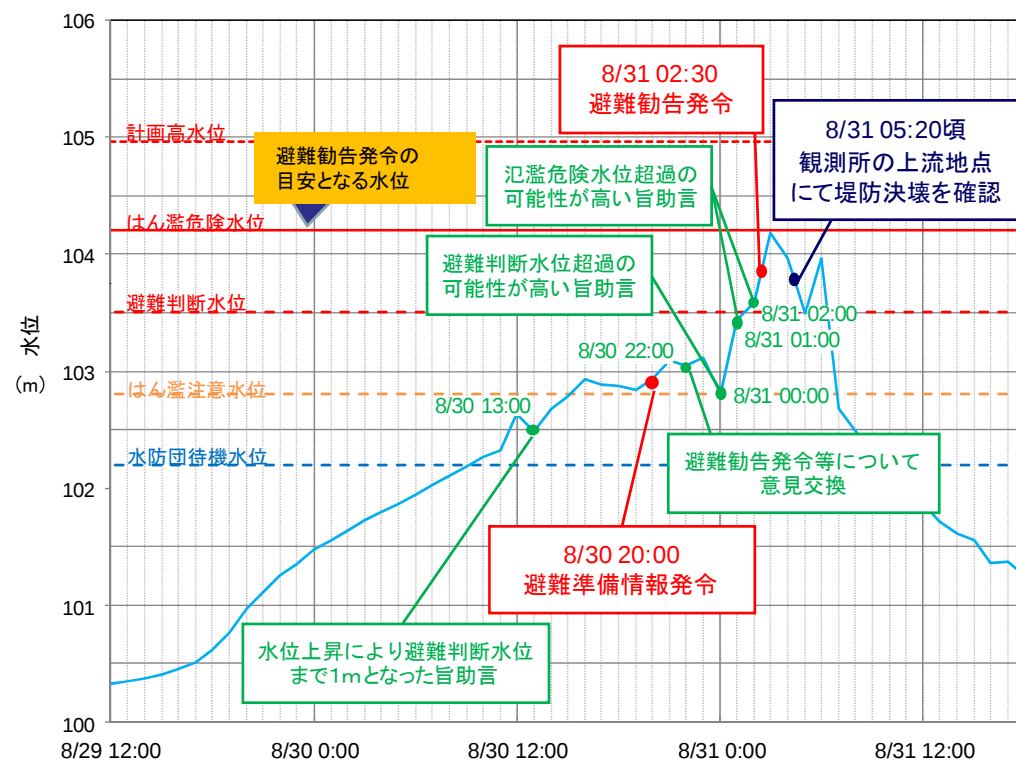
被害状況



＜帯広市(上記浸水区域: 中島町)における避難状況＞
 避難準備情報 30日20:00 中島町(20世帯・120人)
 避難勧告 31日02:30 中島町(20世帯・120人)
 堤防決壊の確認は31日05:20 避難人数は最大26人(31日05:30)

帯広河川事務所から帯広市へのホットライン

第二大川橋観測所における水位とホットライン・避難情報発令のタイミング



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。

台風第10号による石狩川水系空知川の被災状況

- ・8月16日から台風第7号等による降雨に加え、8月29日から、台風第10号による大雨に見舞われ、空知川上流の串内雨量観測所では、降り始めからの雨量が515mmに達した。
- ・空知川及びユクトラシュベツ川(北海道管理区間)のはん濫により、南富良野町幾寅地区において約130haが浸水し、住家約183戸、食品加工工場等が浸水。
- ・8月31日から空知川の堤防決壊(2箇所)に対応する緊急復旧工事に着手し、9月6日に完了。

空知川(幾寅築堤)の堤防決壊

31日 4:40 空知川の堤防決壊を確認
(2カ所 延長 下流約150m 上流約300m)



31日 9:20 緊急復旧工事に着手し、9月6日に完了



洪水調節による被害軽減(ダムの効果)

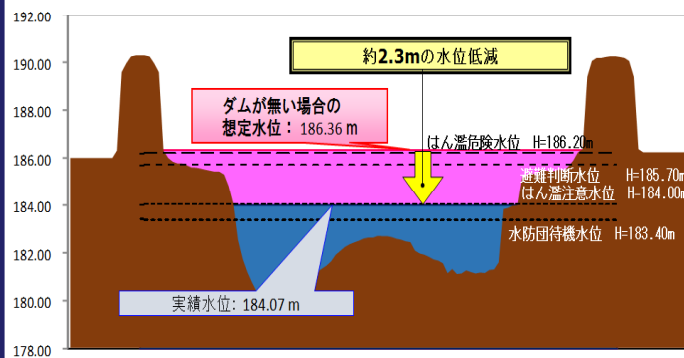
- 金山ダムでは、約5,390万 m^3 の洪水を貯留した。
- 金山ダムが無かった場合、下流の布部地点において約2.3m水位が高くなり、氾濫危険水位を上回っていたと推測され、洪水被害が発生するおそれがあった。
- ダムは、本川(石狩川)に対しても効果があったが、特に支川に大きな効果があった。

位置図

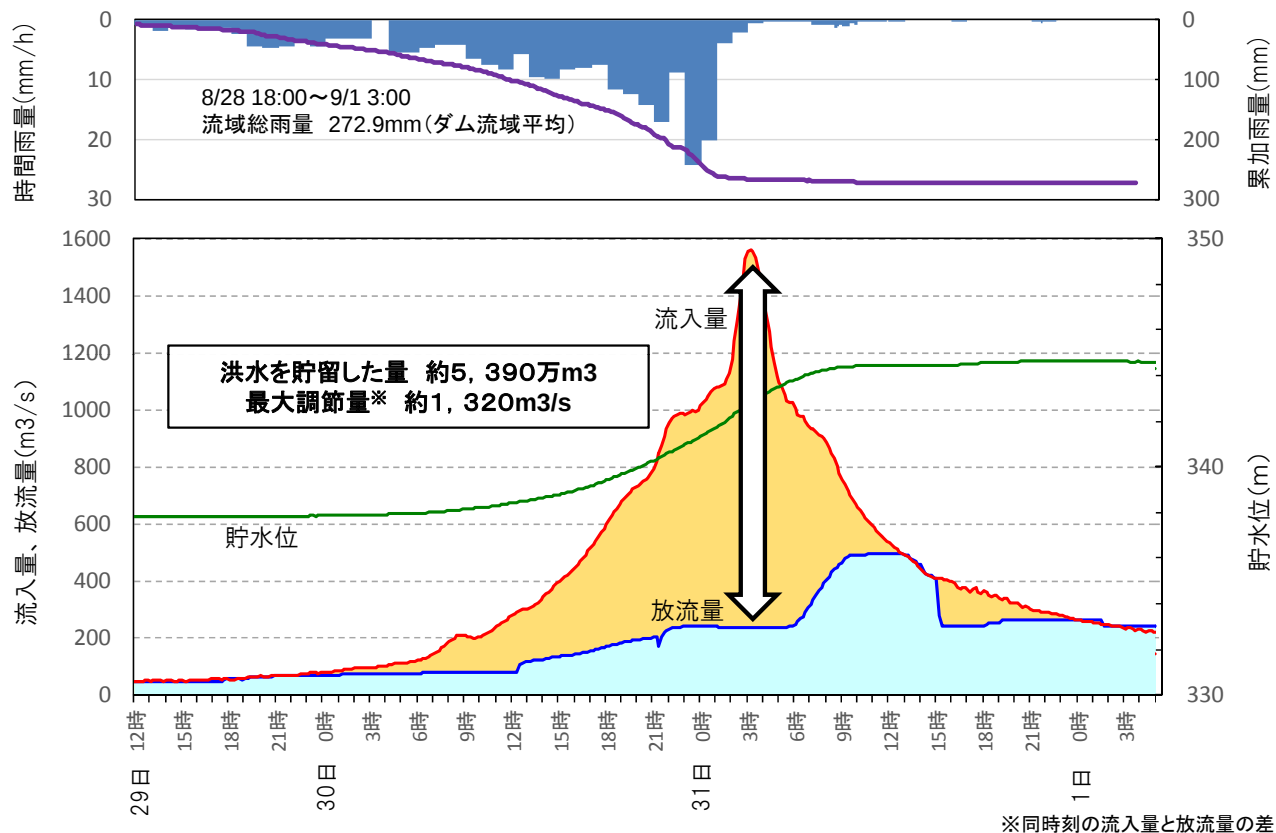


ダムの効果

布部地点における水位低減効果



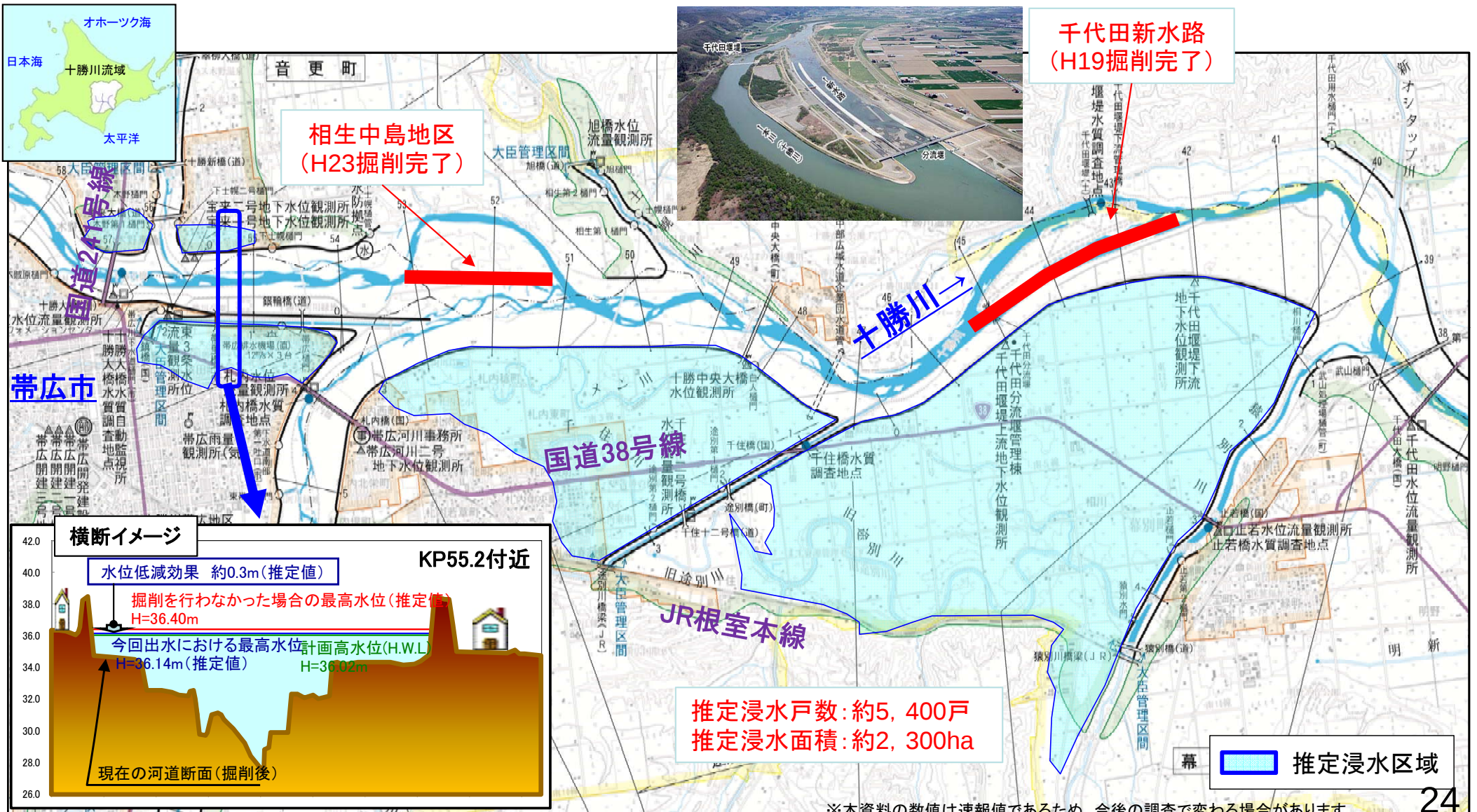
貯留状況



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。

河道掘削の効果(北海道 十勝川)

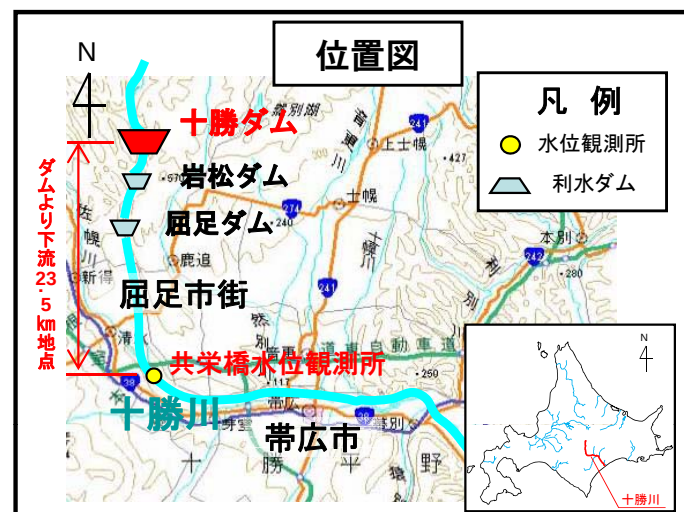
- 平成28年8月台風10号により十勝川では、観測史上最高水位を記録するなど、沿川で浸水被害が発生。
- 帯広市街地付近では洪水時の水位を下げるため、これまで河道掘削を実施しており、実施しなかった場合には、水位が上昇し、計画高水位を超えることにより、堤防が決壊していた可能性。
- 決壊していた場合には、約5,400戸の家屋が浸水するとともに、道路の通行止め等、交通網にも大きな影響が発生したと推定。



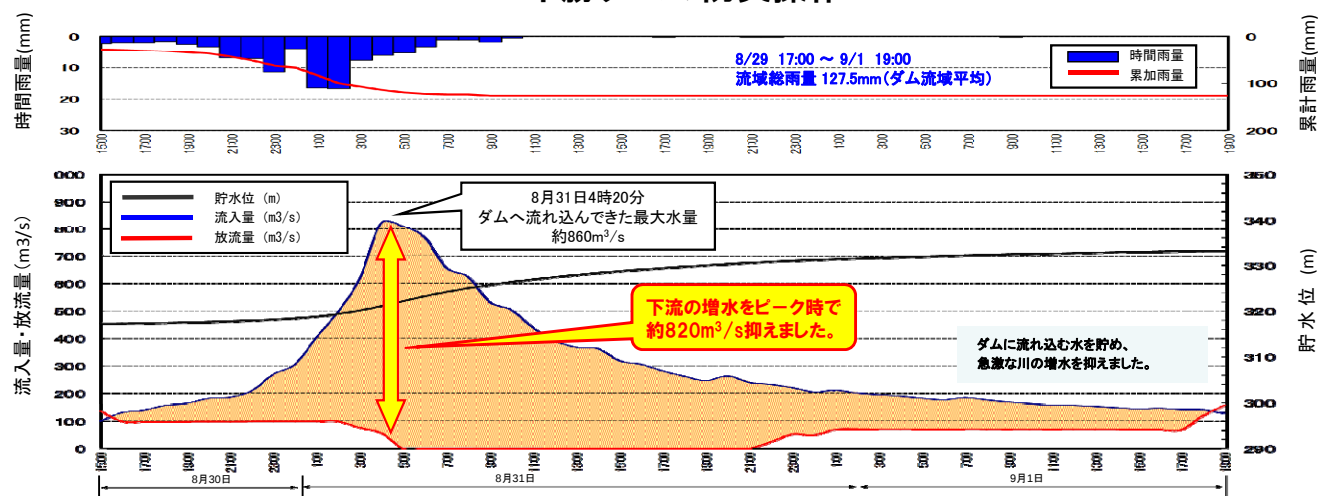
治水事業の効果 ダム整備が効果を発揮(北海道 十勝ダム)(国管理)

- 平成28年8月29日～9月1日の台風第10号に伴う降雨により、十勝ダムにおいては、洪水量を超える流入量を観測。
- 十勝ダムの防災操作によって、ピーク時で約820m³/sの水量を抑え、下流の清水町(共栄橋水位観測所)では、水位を約0.8m低減させる効果があったものと推測されます。
- 仮にダムが整備されていなければ、氾濫注意水位※を上回る出水となったことが想定されます。

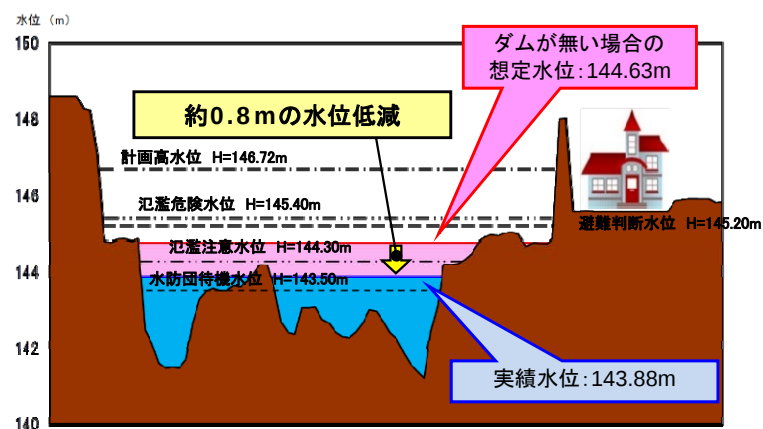
※ 氾濫注意水位: 水防団が水防活動を行うための出動を行う目安等となる水位。



十勝ダムの防災操作



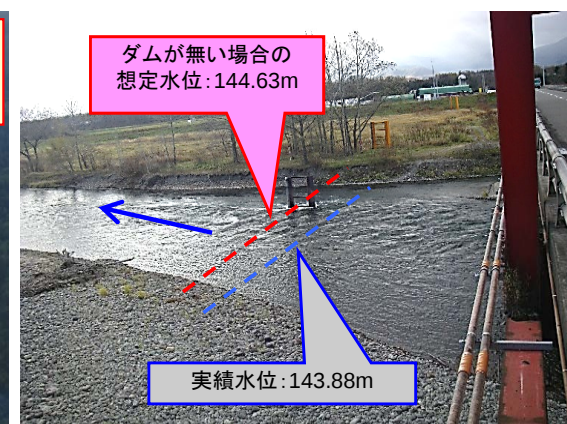
共栄橋水位観測所地点における水位低減効果



十勝ダム貯水状況



共栄橋水位観測所付近



※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査で変わる場合があります。